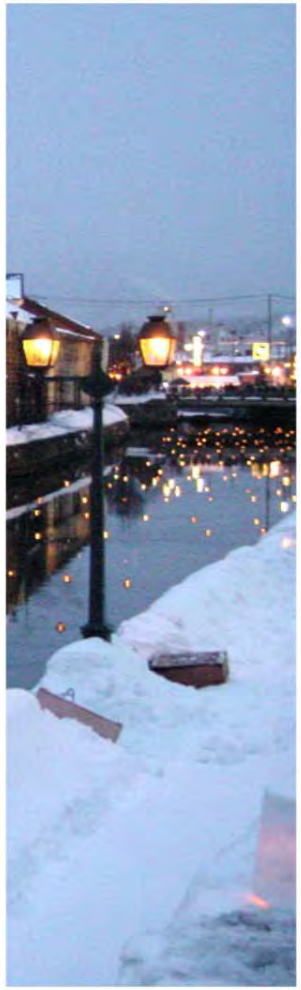
JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

風雪を乗り越え、新たな未来へ



私たちの北海道は現在と将来に向けて、

２つの課題を抱えています。

## 現在　コロナウィルス

生命の危機を及ぼす新型コロナウィルスが世界規模で感染拡大。
外出自粛の中、人々の生活や、経営環境が急速に変化。
収束の目途がつかない状況に北海道経済が混迷。

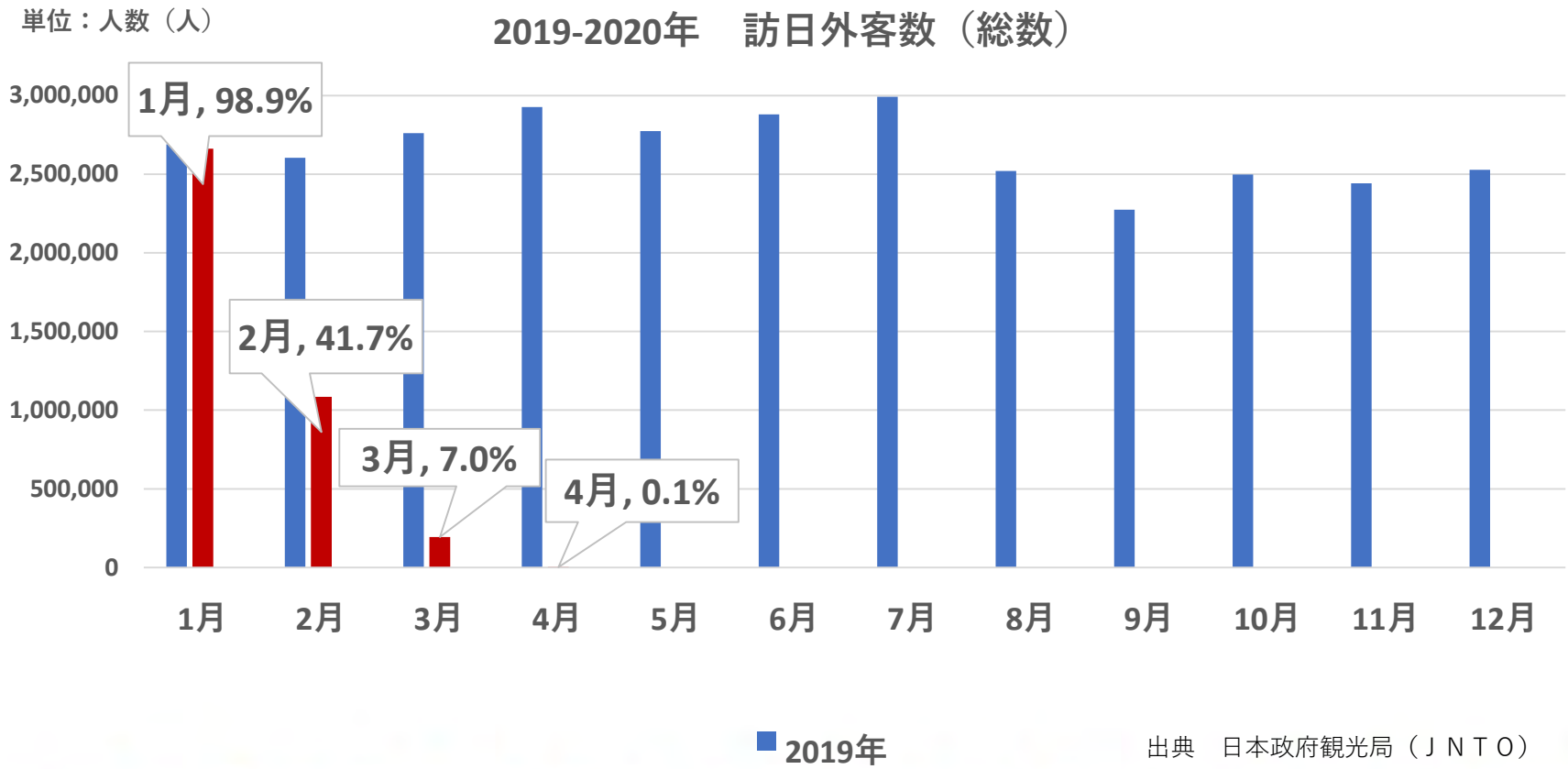
## 将来　人口減少

予測される人口減少と都市部一極集中。
現在の消費需要と生産年齢人口を維持できず、地方経済が衰退する恐れ。

# ～現在の課題～

# 現在　コロナウィルス

コロナウィルス感染リスクの恐れから、発症者が広まった２０２０年２月以降の訪日観光客は著しく低下。観光業に多大な影響を及ぼしている。



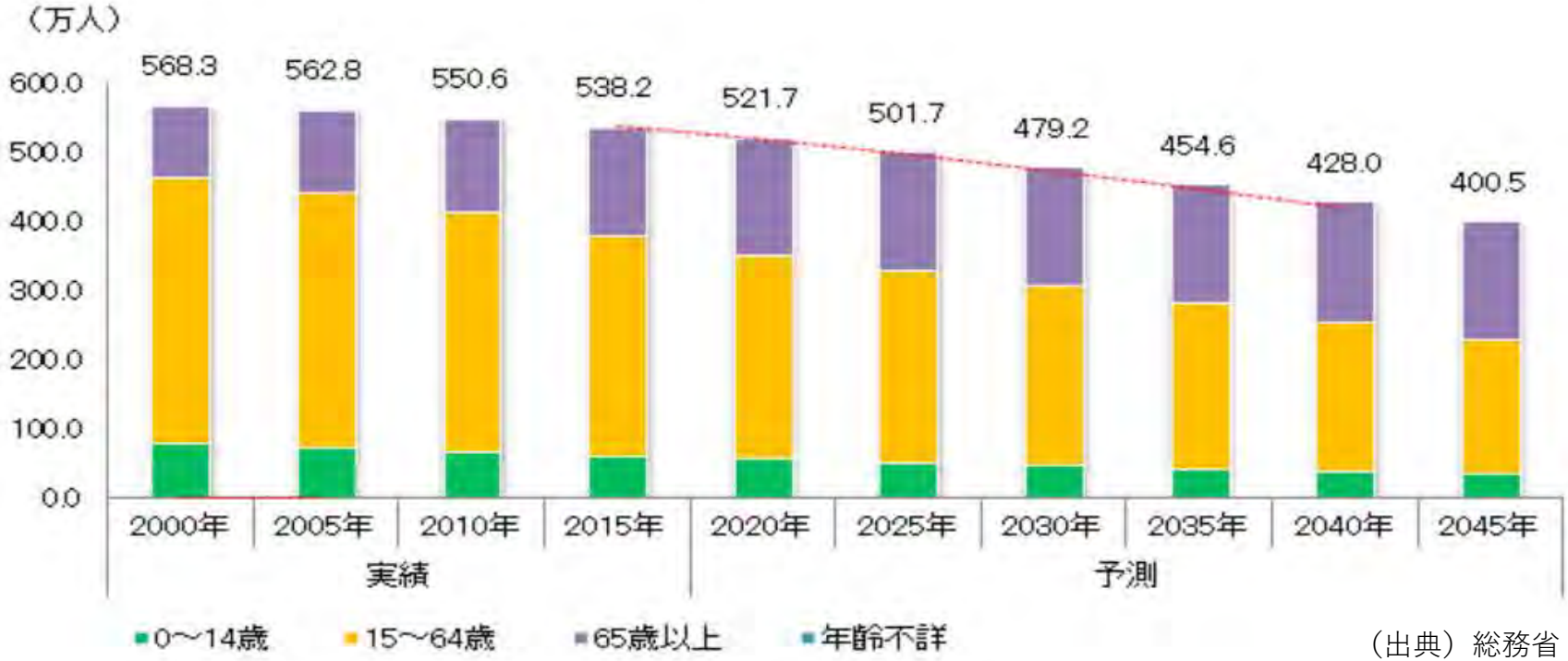

出典　日本政府観光局（ＪＮＴＯ）

# ～将来の課題～

# 将来　人口減少

**将来的に人口減少とともに内需及び、生産年齢人口も減少すると推計される。そのため、北海道経済を維持・発展させるためには需要拡大と同時に労働者不足を考慮しなくてはならない。**

北海道の人口推移




（出典）総務省

# 将来　人口減少　都市部一極集中

道内人口の都市部一極集中は顕著であり、３５％以上の道民が札幌市に集中して居住している。このまま人口減少と合わせ、経済衰退、都市部一極集中化が進めば、地方に割かれるインフラ予算は削減され更に地方財政が逼迫することが予想される。

北海道の主要都市
（人口10万人以上の都市）

| 北海道の主要都市 | 人口（2017年1月） | 平均地価(円／㎡)（2018年1月） | |
|---|---|---|---|
| | | 住宅エリア | 商業エリア |
| 札幌市 | 1,947,494 | 67,600 | 242,100 |
| 小樽市 | 120,769 | 15,700 | 73,100 |
| 苫小牧市 | 173,135 | 16,000 | 29,200 |
| 函館市 | 265,503 | 39,800 | 67,400 |

| 北海道の主要都市 | 人口（2017年1月） | 平均地価(円／㎡)（2018年1月） | |
|---|---|---|---|
| | | 住宅エリア | 商業エリア |
| 北見市 | 119,978 | 14,700 | 34,200 |
| 旭川市 | 342,848 | 20,100 | 53,000 |
| 釧路市 | 174,518 | 17,600 | 35,000 |
| 江別市 | 119,182 | 25,700 | 36,700 |
| 帯広市 | 168,096 | 23,900 | 49,100 |

（出典）北海道

# 現在　コロナウィルス　と　将来　人口減少

現在だけに囚われて、将来予測される課題を無視はできません。

また、逆も然りです。

それぞれの局面に応じたビジョンが必要となると考えます。

# コロナウィルス感染リスクの減少に伴い、経済の復興は内需回復を経て、インバウンド需要が回復するものと考えられます。

| | | | |
|---|---|---|---|
| コロナ情勢 | 感染リスク高 | ワクチン開発により収束の方向へ | 感染リスク小 |
| 政策 | 助成金<br>融資制度緩和 | 外出自粛<br>要請緩和 | 観光消費喚起<br>キャンペーン |
| 経済 | 景気低迷<br>企業負債増加 | 内需徐々に<br>回復 | インバウンド<br>需要回復 |

# では、どう乗り越えるか？

# 現在の課題解決

# 現在　コロナウィルス
# を乗り越えるために必要なこと。

①感染リスクを減少させる取り組み

②地元地域を活かしたマイクロツーリズム

③インバウンド需要回復を見据えたＳＮＳ発信

# ①感染リスクを減少させる取り組み

まずは、感染リスクを避け、いち早く感染症拡大を防ぐことが重要です。また、完全にコロナを鎮圧できるか、できないとしてもコロナリスクを乗り越えるために継続徹底した意識が必要となります。

実際の私たち北海道の取り組み事例を共有し、
感染リスクを減少させましょう。

# 道南エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

白老町のアイヌ文化復興拠点、民族共生象徴空間（ウポポイ）で９日、新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら町民向け内覧会が始まった。密閉、密集、密接の「３密」防止をはじめ、入り口にサーモグラフィーを設け、展示や体験プログラムを変えるなど、入場者の安心・安全確保に配慮。コロナの影響で開業が延期されてきただけに、対策に万全を期しながら公開の実績をつくることで、ウポポイ開業への機運を高める。

サーモグラフィーで入場者の体温をチェック

ウポポイのコロナ感染症対策は、国が示す基本的対処方針に基づき、管理運営するアイヌ民族文化財団が実施。国立アイヌ民族博物館の対策は、日本博物館協会の予防ガイドラインに沿うなど、感染予防を徹底して町民らを迎えた。１４日まで予定している内覧会の入場者数も、平日は最大３００人、土・日曜は同１０００人に抑え、グループ行動も５０人までとした。

感染防止のため展示物に触れないよう対策が施されている

道央エリア

JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

新型コロナウイルス感染防止のため、ホテルの部屋に設置された配膳ボックス＝１７日、札幌市南区

札幌市郊外の一棟貸し切り型の戸建てホテル「ＳＡＫＵＲＡ定山渓　膳」。５月に営業を始めたばかりだが、他の客や従業員とほぼ接触せずに宿泊できると人気だ。

宿泊手続きは、玄関前に設置されたタブレットを操作をするだけ。食事は従業員が客室に設けられた配膳ボックスに置く仕組みで、宿泊客と従業員が接触する機会は原則として緊急時だけだ。

運営会社によると、徹底した省人化は人手不足対策のためだったが、結果的に接触機会の削減という感染対策につながった。担当者は「全棟が（予約で）埋まる日もある。コロナが収束すれば、インバウンド（訪日外国人）の客も獲得できるかもしれない」と期待を寄せる。

道北エリア

JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 旭川市新型コロナウイルス感染症対策の対処方針

## ■位置付け

対処方針は，新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図り，市民の健康と生命及び地域経済を守るため，事態の状況に応じた対策を迅速かつ的確に実施するための統一的指針として定めるものです。

本市が直面する事態の状況を「①国の緊急事態宣言が発令され，北海道は対象外のとき（フェーズ１）」，「②国の緊急事態宣言の対象区域となる，又は市内感染者が急増となったとき（フェーズ２）」，「③緊急事態宣言の発令が解除され事態が収束に向かっているとき（フェーズ３）」の３つに分けて，それぞれのフェーズにおける対処方針を定め，その対処方針に基づき，「医療・保健対策」，「市民生活対策」，「経済対策」の３つの対策を定めています。

## フェーズ1 緊急支援

■事態の状況
- 国の緊急事態宣言の発令（北海道対象外）

■対処方針
- 感染の拡大防止と医療提供体制の整備
- 緊急的な経済対策
- 事態の悪化に備えた対応の準備

### 医療・保健対策

1 医療提供体制の充実・強化
- ■市内における感染状況の把握と検査体制の充実
- ■感染症患者の増加に備えた病床の確保・発熱外来の設置
- ■移動困難な患者の輸送手段の確保
- ■防護服等の医療資器材の整備

### 市民生活対策

2 市民への情報提供と相談機能の充実
- ■ＳＮＳ等を活用した迅速な情報発信の強化
- ■相談窓口機能の充実

3 市民への意識啓発
- ■手洗いと咳エチケットの徹底
- ■３密（密閉・密集・密接）を避けた行動の協力依頼

4 不特定多数が集まる機会の縮小（接触機会の低減）
- ■市主催イベントや行事の中止又は延期
- ■緊急事態宣言地域等との不要不急の往来自粛の協力依頼

5 学校・公共施設等での感染拡大防止
- ■３密を避ける対策と衛生環境の整備
- ■市有施設の利用制限と感染者が発生した学校の臨時休校
- ■ＪＲ旭川駅や旭川空港等での感染拡大防止対策の協力依頼

### 経済対策

11 各業界団体への影響把握

12 中小企業・小規模事業者への緊急的な支援
- ■資金繰りへの支援（融資制度の拡充等）
- ■国の雇用調整助成金を活用した独自支援
- ■税や保険料，水道料金等の徴収猶予

13 雇用維持の支援
- ■就業に関わる相談支援体制の強化

14 感染拡大防止のための働き方改革

15 緊急的な生活支援対策（国）

16 生活支援対策の充実（市等）

17 地方創生臨時交付金（仮称）を活用した地域経済の活性化

## フェーズ2 事態の悪化

■事態の状況
- 北海道が緊急事態宣言の対象区域となる等

■対処方針
- 緊急事態宣言区域としての対策
- 感染者の急激な増加への対応
- 切れ目のない経済対策

### 医療・保健対策

6 感染者急増へ対応できる医療提供体制の整備
- ■検査体制の更なる充実
- ■重症者・中等症者の病床の確保と受入れ
- ■軽症者の宿泊・療養施設の確保と受入れ
- ■医療従事者と医療資器材の確保と輸送手段の強化

### 市民生活対策

7 市民への注意喚起と外出自粛の要請
- ■３密（密閉・密集・密接）を避けた行動の要請
- ■人と人との接触自粛（８割減少）要請
- ■不要不急，接客を伴う飲食店等への外出自粛要請

8 不特定多数が集まる機会の縮小（接触機会の低減）
- ■市主催イベントや行事の中止
- ■民間主催イベントや行事の中止要請
- ■事業者への休業要請，公共交通機関の利用制限要請

9 学校の一斉臨時休業・公共施設の一時閉館

10 心のケア
- ■虐待，ＤＶ被害者相談支援体制の強化充実
- ■子どもの相談体制の強化

### 経済対策

11 各業界団体への影響把握

12 中小企業・小規模事業者への緊急的な支援
- ■資金繰りへの支援（融資制度の拡充等）
- ■国の雇用調整助成金を活用した独自支援
- ■税や保険料，水道料金等の徴収猶予

13 雇用維持の支援
- ■就業に関わる相談支援体制の強化

14 感染拡大防止のための働き方改革

15 緊急的な生活支援対策（国）

16 生活支援対策の充実（市等）

17 地方創生臨時交付金（仮称）を活用した地域経済の活性化

## フェーズ3 Ｖ字回復

■事態の状況
- 緊急事態宣言の発令が解除される
- 事態が収束に向かっている

■対処方針
- 地域の市民活動・経済活動の回復

### 経済対策

17 地方創生臨時交付金（仮称）を活用した地域経済の活性化

18 急減した観光需要の復活に向けた取組

19 地元飲食店や商店会等での消費拡大

20 中小零細企業・農業従事者の事業安定化対策

21 地元企業の海外展開・販路開拓促進

22 観光・運輸業等への支援による地域振興対策

23 就業サポートの強化

24 経営支援の強化

25 文化芸術やスポーツ体験機会の創出

### 市民生活対策

26 ＩＣＴ等を活用した新たな取組の加速
- ■小中学校でのＩＣＴ環境の整備の加速

道東エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

帯広市商店街振興組合連合会ＨＰより抜粋

# ②地元地域を活かしたマイクロツーリズム

感染リスク減少の次は、内需回復です。

しかし消費者の感染リスクの意識が強いうちは、
行動範囲が狭く需要回復に遅れが生じるものと
考えます。

また、感染リスク減少までの時間が長引けば、
地域中小企業の体力も損なわれ思い切った活動に
踏み切れないかもしれません。

そこで、多額の予算がなくとも、
既にある道民の試みをヒントに地元地域住民を対象にした観光　マイクロツーリズム　を推進してみてはどうでしょうか。

理由①感染リスクが存在するうちは消費者の活動範囲は狭いと想定されるため。
理由②各企業の経営体力がない場合、互いに経営資源を持ちより活かし合うコミュニティの力が必要と考えること。
理由③政府が収束後の復興策の一つに観光の消費喚起キャンペーンを予定しており、それまでの間、各地観光資源の磨き上げが期待されていること。

# 北海道の豊富な食材、雄大な自然、日本固有の文化が魅力になります。

道南エリア

JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 北海道の自然を利用した試みが魅力あるアクティビティになる

## 渡島管内七飯町　氷のメリーゴーラウンド

大沼国定公園で行われた、大沼の氷を円形に切り抜き、湖上で回転させる氷のメリーゴーラウンド「アイスカルーセル」。日本初の取り組みで、観光客らはゆっくりと回転する氷に乗って写真を撮ったり、寝転んだりして、氷上でのんびりとした時間を過ごすことができました。

道央エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 北海道の農家が色一面の風景を作り出す

## 滝川市江部乙町　菜の花畑

２０１５年から４年連続作付面積日本一となっており、５月中旬から６月上旬までが見ごろ。展望台や菜の花の見ごろなスポットを案内してくれる菜の花タクシーを設けています。

道北エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

## カニの爪オブジェ

紋別市を代表する写真スポットとして観光で訪れた人はここでの写真をSNSにUPすることを楽しみにしています。

道東エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 北海道を歩くことが観光になる

## 中標津町　北根室ランチウェイ

北根室ランチウェイは、中標津から北根室まで続く広大な牧場地帯(ランチ)を通り、 摩周湖を周る全長71.4kmのロングトレイル(長距離自然歩道)です。 現代には珍しいただ歩くための道で、牧草地が地平線の向こうまで広がっています。

# ③インバウンド需要回復を見据えたＳＮＳ発信

感染リスクを克服し、内需回復からインバウンド需要回復に繋げるため妨げになることが、風評被害です。

情報が乱立する現代で、風評被害を払拭するカギはＳＮＳにあると考えます。

案１　地域コミュニティでの感染リスクの備えを紹介

案２　在日外国人、留学生に実際の北海道の状況を発信してもらう

# 将来の課題解決

# 将来　人口減少　に向け何をすべきか

コロナを乗り越え、インバウンド需要を回復させた
その先にもまだ課題は残っています。

インバウンド需要拡大に対し、地方の人口が減少する一方では、労働力が不足し地域経済は維持できないかもしれません。

限られた生産年齢人口で如何に利潤を確保するか。

# 将来　観光客増加による
# 経済を好循環へ導くために必要なこと。

①訪日観光客に着目する

②モノ消費からコト（経験）消費
アドベンチャーツーリズム

③ヨソモノ、ワカモノの視点

④新しい旅行のあり方

# ①訪日観光客に着目する

道内訪日観光客は平成２３年から平成２９年にかけ５倍急増。
全国の増加数も加味すると、コロナ感染収束後、観光業を復興させることができれば高需要が期待できる。

（出典）観光庁　及び　北海道統計を基に作成

# 何故、訪日観光客の需要拡大に着目するのか

訪日観光客に依存してはコロナショックの様なリスクに対し多大な影響がある反面、収束後は将来予測される人口減少と都市部一極集中化に対し解決策が見いだせるもの。

| | | |
|---|---|---|
| 人口減少による内需減少 | ⇒ | 増加傾向にあった訪日観光客で消費需要でカバー |
| 労働力不足 | ⇒ | 一人あたりの消費額が高い訪日観光客をターゲットにすれば生産年齢人口一人当たりの利潤が増加し労働力を確保せず地域経済の発展が期待できる。 |
| 都市部一極集中化 | ⇒ | 多大なコストを投入しなくても、元々ある自然や食を利用して地方創生が図れる。 |

# 訪日観光客

訪日観光客の一人当たりの消費額の推計値では、道民や来道者と比較しても倍以上。訪日観光客をターゲットに位置付けることは経済的合理性がある。

■今回の観光で道内で消費した金額

| | | 道内客 | | 道外客 | 外国人 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 日帰り客 | 宿泊客 | | |
| 総サンプル数 | | 813 | 744 | 2,848 | 3,821 |
| 道内支出合計（円） | | 8,120 | 32,594 | 72,316 | 143,293 |
| （※現金での支払い額） | | 6,374 | 21,512 | 45,935 | 93,570 |
| 内訳（円） | ①交通費 | 2,781 | 8,719 | 20,857 | 41,912 |
| | ②宿泊費 | 0 | 12,091 | 21,329 | 41,837 |
| | ③飲食費 | 2,017 | 5,917 | 14,264 | 22,596 |
| | ④買い物費 | 2,953 | 4,655 | 11,371 | 25,489 |
| | ⑤その他費用 | 369 | 1,213 | 4,496 | 11,458 |
| （※現金での支払い額） | | 78.5 | 66.0 | 63.5 | 65.3 |
| 構成比（%） | ①交通費 | 34.3 | 26.8 | 28.8 | 29.2 |
| | ②宿泊費 | 0.0 | 37.1 | 29.5 | 29.2 |
| | ③飲食費 | 24.8 | 18.2 | 19.7 | 15.8 |
| | ④買い物費 | 36.4 | 14.3 | 15.7 | 17.8 |
| | ⑤その他費用 | 4.5 | 3.7 | 6.2 | 8.0 |

注１：調査では「道内支出総額」と「分野別支出額（①交通費・②宿泊費・③飲食費・④買い物費・⑤その他の費用）」を回答させている。この時、「道内支出総額」と「各分野支出の計」が一致しないもの、分野別の支出額が無回答の場合などがある場合がある。このため、不規則なデータを除外した「算出有効サンプル」で平均支出額を算出し、総額回答に各費目ごとの割合を乗じて支出額補正を行っている。

注２：調査は8月下旬の第１期から、2月初旬からの第3期まで実施されたため、通貨換算基準は第1期当初の2019年8月末時点を基準として、各国・地域ごとに「円換算」している。

| 通貨換算基準（主な通貨抜粋） | |
|---|---|
| USドル | 108.0円 |
| ユーロ | 120.0円 |
| 元 | 15.4円 |
| 台湾ドル | 3.6円 |
| 豪州ドル | 75.0円 |
| バーツ | 3.6円 |
| 香港ドル | 14.0円 |

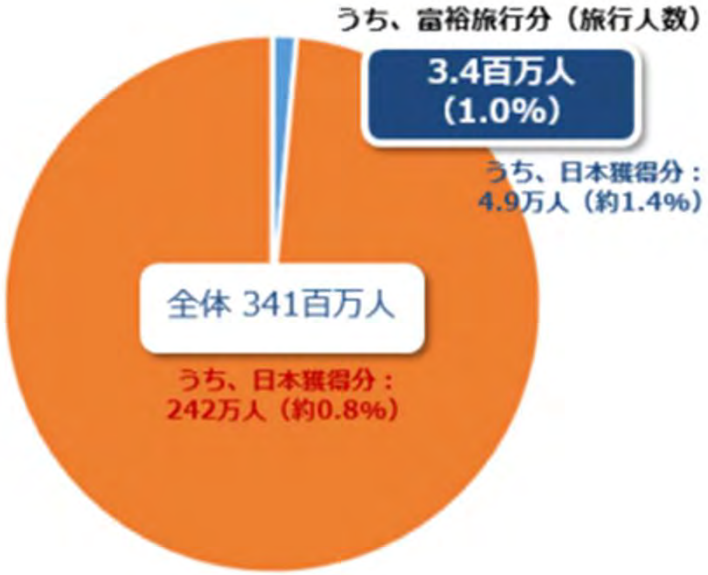
第一期調査実施の2019年8月末を基準とした

（出典）令和元年度 北海道来訪者満足度調査

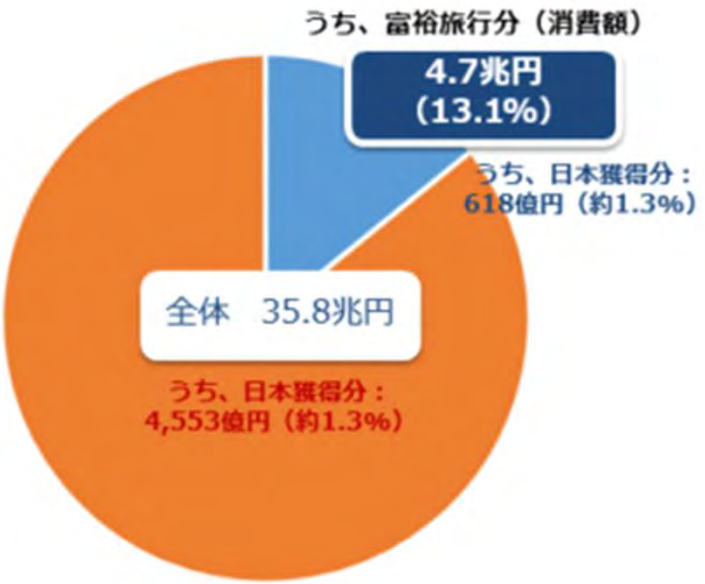
# 世界の富裕層観光客

世界市場においては、更に消費額単価の高い富裕層観光客が存在し、全海外旅行者のわずか１％が全体の消費額のうち１３％を消費している。

欧米豪5カ国の推計富裕旅行者数




欧米豪5カ国の推計富裕旅行消費額

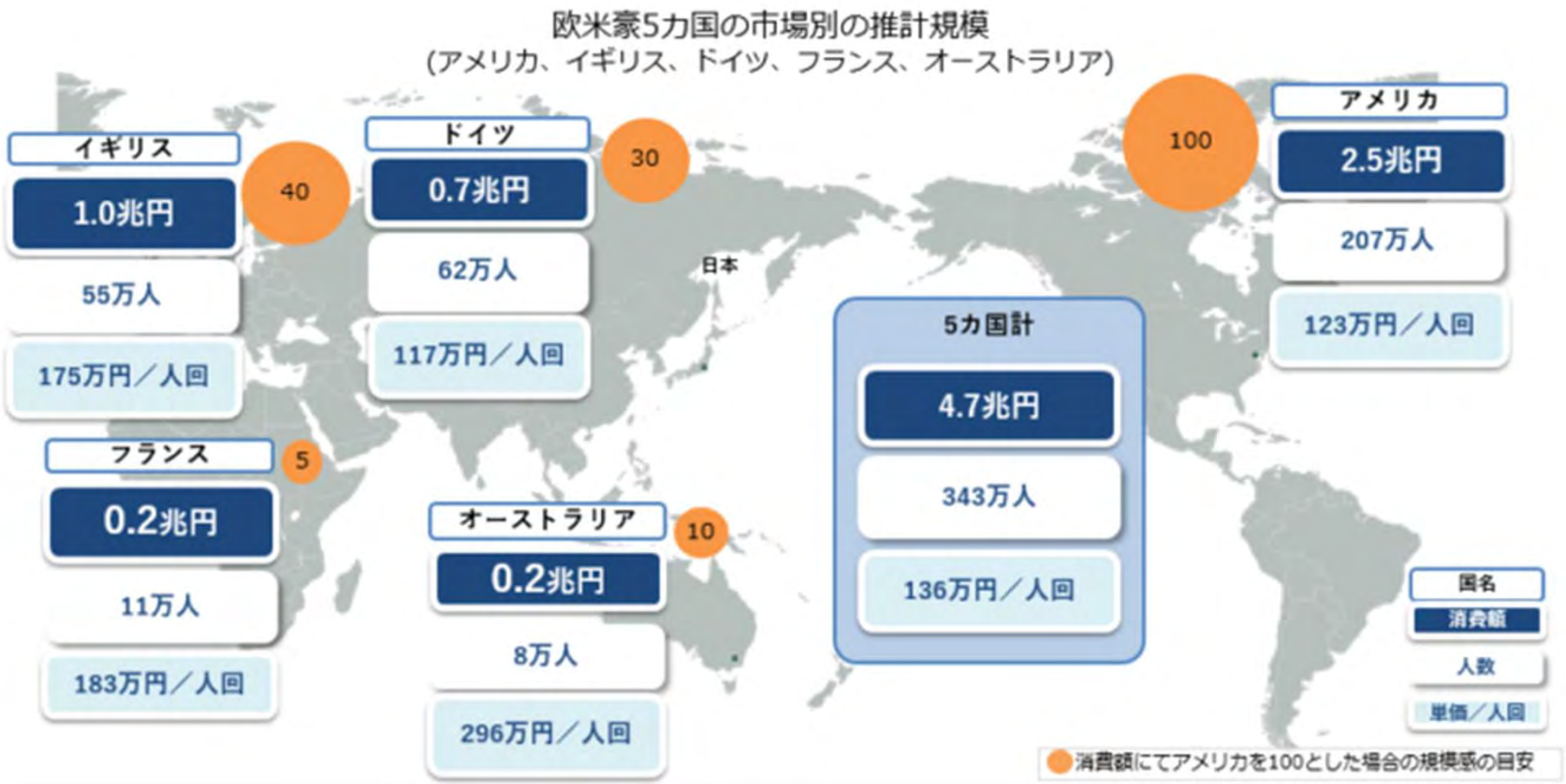



（出典）ＪＮＴＯ

本資料では着地で100万円以上支払っている旅行を富裕旅行として集計。

# 世界の富裕層観光客

一人あたりの平均消費額１３６万円と高額であり、北海道の減少が見込まれる生産年齢人口で経済規模を維持、拡大するには、この層を如何に取り込むかが課題となる。




（出典）ＪＮＴＯ

大勢の不特定多数の観光客より富裕層をターゲットに高付加価値の商品・サービスを提供すれば、

限られた生産年齢人口で多くの利潤が期待できます。

# では、どう乗り越えるか？

# ②モノ消費からコト（経験）消費
## アドベンチャーツーリズム

## 外国人富裕層が注目する

# アドベンチャーツーリズム

## モノ消費からコト（経験）消費へ

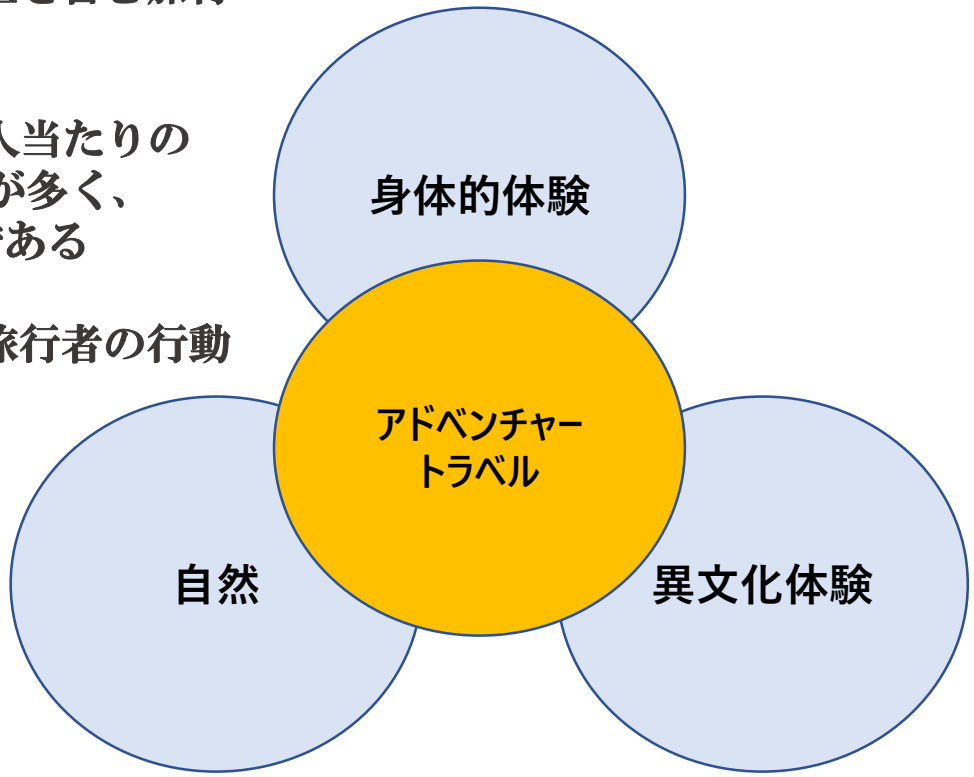
富裕層をターゲットにアドベンチャーツーリズムを展開し
高付加価値商品・サービスの提供へ

# アドベンチャーツーリズム（ＡＴ）とは

- アドベンチャートラベルとは「自然」「異文化体験」「アクティビティ」の３要素のうち、２つ以上を含む旅行形態である

- 市場規模は欧米を中心に約50兆円とされ一人当たりの平均支出額は訪日外国人の約2倍、長期滞在が多く、教育水準の高く富裕層の割合が大きい市場である

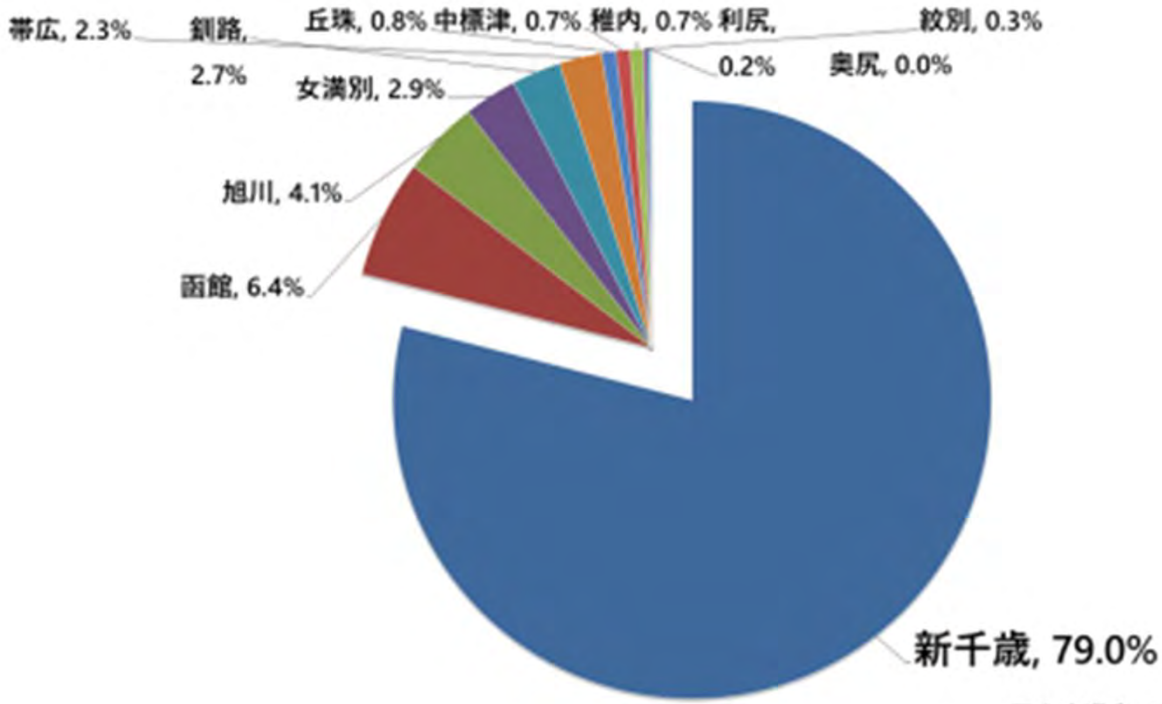
- アドベンチャーの意味合いは広く捉えられ旅行者の行動を促すものを指す




出典：（公社）北海道観光振興機構 ATWS準備室

北海道観光は新千歳空港を起点とする道央圏に集中し、地方に観光消費が分散しずらい状況にある。地方のアドベンチャーツーリズム企画によりこの状況の打開が期待される。

## 北海道観光の大きな課題




国土交通省 28年度空港利用調書より作成

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# それぞれの課題をチャンスに
# アジア初のアドベンチャーツーリズム基地を

## ・北海道観光課題

- 千歳空港圏一極集中の解消
- 消費単価UP

（買い物一辺倒ではなく各地域での消費）

## ・地域課題

- 他地域（道外・海外）との差別化
- 滞在型リゾートへの移行

## ・旅行社の新たな役割

- マーケットデータと商品造成ノウハウに基づいた
- ローカルコンテンツの高付加価値
- ハイエンド化

## ・アフターコロナの旅行ニーズ

- 3密を避けた分散型観光
- 自然や異文化を通してのマインドフルネス

The Power of PowerPoint | thepopp.com

私たちの北海道には、

アドベンチャーツーリズムのヒントとなる
たくさんの自然、文化、体験に満ち溢れた
アクティビティがあります。

北海道には雄大な自然、日本固有の文化など、地域の特性を活かした、体験（アクティビティ）が数多くあります。

道南エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 白老町　釣り堀（山本養鱒場）

摩周湖に次ぐ全国２位の透明度を誇るクッタラ湖の良質な湧き水を利用した養鱒場です。また、水温は１年を通じてほぼ一定ですので冬でも釣り堀を楽しめます。

道央エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 当別町　スウェーデンヒルズ

森に囲まれる形の近自然型の住宅地。当地を訪れたスウェーデン人が「ストックホルム郊外にそっくりだ」と言ったことをきっかけに「スウェーデンハウス」が設立され、当地区を開発することになったのが始まりである。地区の中心にはイベントなどが開催されるホールのほか、ガラス工芸などの工房もあり、芸術家が活動拠点とすると共に、工芸教室なども開かれている。

道北エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 北海道の文化と自然を一度に

## 枝幸郡枝幸町　オホーツクミュージアムえさし

枝幸町やオホーツク海沿岸の歴史・自然の展示をしております。特に、オホーツク文化を今に伝える「目梨泊遺跡」の出土品（国指定重要文化財）をはじめとした先史時代の展示がありとても勉強になる施設です。

オホーツク文化
　国の重要文化財204点を中心にした一大コレクション

枝幸地方の自然
　魚、鳥、昆虫、植物など多彩な標本で枝幸の豊かな自然を紹介

枝幸・歌登のあゆみ
　枝幸砂金や興浜北線など地域の歴史や生活文化を紹介

道東エリア

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 北海道の農業体験が観光資源になる

## 紋別郡遠軽町　江面ファーム

農家民宿（ファームスティ）。2012年4月、夢であった「北海道での就農」を実現した脱サラ新規就農夫婦。じゃがいも等の通販、農家民宿・農業体験、住み込みボランティア、企業研修の受け入れ、ヒンメリ制作・販売等を行って、四季折々のアクティビティをご用意、農場体験メニューも豊富！宿泊スタイルは、ホームステイと一棟貸しがあります。思い出に残る時間を過ごせるのではないでしょうか。

# ③ヨソモノ、ワカモノの視点について

地域おこし協力隊導入における地域の活性化

地域ブランドや地場産品の開発・販売・ＰＲ等の地域おこしの 支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協 力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。

都市部一極集中の改善
●都市地域から過疎地域への移動。
●過疎地域への定住化。
●地域の活性化につながる

# 地域おこし協力隊導入の効果

## ～地域おこし協力隊・地域・地方公共団体の「三方よし」の取組～

### 地域おこし協力隊

○自身の才能・能力を活かした活動

○理想とする暮らしや生き甲斐発見

### 地　域

○斬新な視点（ヨソモノ・ワカモノ）

○協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与える

### 地方公共団体

○行政ではできなかった柔軟な地域おこし策

○住民が増えることによる地域の活性化

# ④新しい旅行のあり方について

これからは人が一気に動くと感染リスクが高まるという新しい要素が出てきたので、今までの「一斉に旅行をする」というこのあり方自体を見直していかないと根本的な解決にならないのではないか。
コロナ禍によってリモートワークの流れが進むようになると、働き方がだいぶ変わり、自由に場所とか時間を選べるようになると休み方も変わってくる。

# 「分散休暇」が進んでいけば混雑による３密のリスク回避

●旅行する側にとっては、混雑も回避できるし比較的値段も安くて済む。

●観光業の方にとっては、旅行シーズンだけ人が来るのではなくて、人の流れを平準化できるので経営が比較的安定してくる。

●社会全体が感染リスクを防ぎながらも旅行ができるようにして経済は両立する。

経済、社会、環境の３つは切っても切り離せません。

コロナウィルスの様に、個人、企業単独では解決できないことはまだまだあるはずです。

私たち経済団体が、パートナシップを発揮し、様々な視点で包括的な課題解決を図ることが求められています。

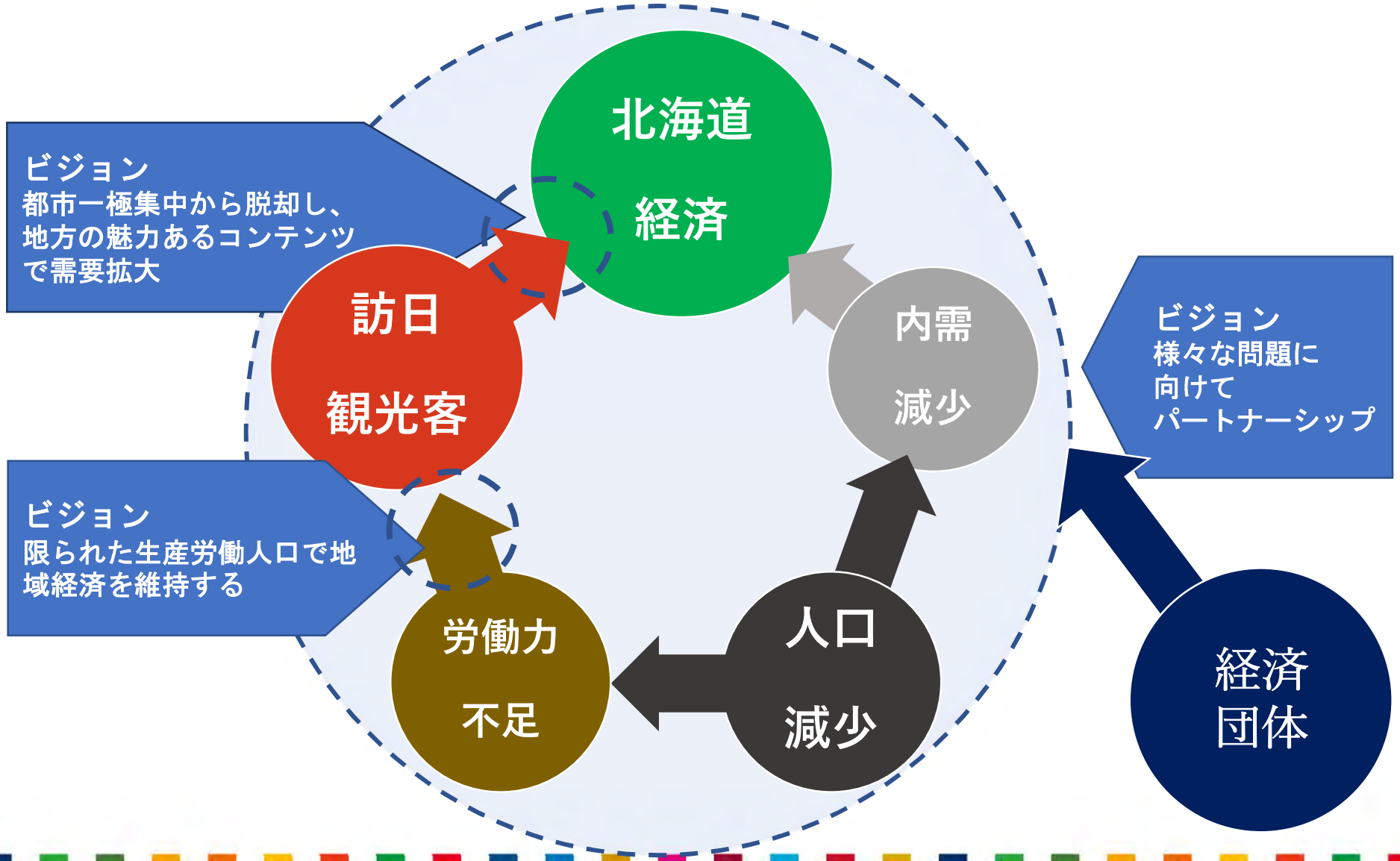
JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# ＳＤＧｓ

世界全体の経済・社会・環境に関する課題を１７に分け各国それぞれが目標を管理し、民間へ推進している取り組み。
ＳＤＧｓを意識すれば、これまで限られていた視点から１７の目標それぞれに対して目を向けるようになる。
また、単独で解決できないことも**パートナーシップで解決**を図ることが期待できる。

Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 経済を好循環させるイメージ～コロナ収束後



# 地域経済ビジョン・アクションプラン

ビジョン策定に留まらず、アフターコロナに
備え、北海道の魅力を高めるため、
アクションプランを実行します。

地域経済ビジョンを軸とすることにより、
北海道が抱える様々な課題を各経済団体や
企業が連携することにより、包括的な課題解決
を図り、北海道経済を好循環に導くことが出来ます。

JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# 地域経済ビジョン・アクションプラン

地域経済ビジョン

コンテンツ推進
- ＪＮＴＯ
- 行政
- 広域ＤＭＯ

情報発信
- ＹｏｕＴｕｂｅ
- 青年会議所事業

観光資源調査
- 道内青年会議所
- 道内観光協会
- 道内大学

JCI Junior Chamber International Japan
HOKKAIDO District Council

# マイクロツーリズム

マイクロツーリズムなどを活かしながら、地域の価値や魅力を
再発見し、広域連携による観光素材の価値の共有から
内需回復を図り、ＷＩＴＨコロナを乗り越えていきましょう。

# アドベンチャーツーリズム

内需回復の先に、

限られた生産年齢人口で富裕層をターゲットに高付加価値の商品・サービスを提供し、

アドベンチャーツーリズムを推進することが必要と考えます。

北海道の魅力である食や景観の付加価値化を考え、
インバウンド戦略を確立し、各団体と連携を図ることを
目指します。

**インバウンドによる交流人口の
増加を目指します。**

# 総括

地元地域の観光素材の価値を磨き上げ、地域の価値や魅力を共有し、マイクロツーリズムなどのツールを活用しながら、内需回復を図り、ＷＩＴＨコロナを乗り越えていきます。

地方の人口が減少する一方で、限られた生産労働人口で大勢の不特定多数の観光客より富裕層をターゲットに高付加価値の商品・サービスを提供すれば、限られた生産労働人口で多くの利潤を得られます。

そのための具体的施策として富裕層をターゲットとしたアドベンチャーツーリズムを展開し、高付加価値商品・サービスを提供があげられます。

また、新型コロナウイルスや、胆振東部地震など災害による問題について私たち経済団体がパートナーシップを発揮し包括的に課題解決を図ることでより良い社会の形成を目指します。

## ●主催者

公益社団法人日本青年会議所　北海道地区協議会
２０２０年度会長
金澤　宗一郎